

令和4年度 第2回東陽中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和4年 7月4日（月） 14時00分から15時50分
- 2 開催場所 東陽中学校会議室
- 3 出席委員 大橋 美義、飯塚 正師、吉春 辰郎、高林 昇、増谷 方明、山田 玲子、小田 明美、藤田 真弓
- 4 欠席委員 なし
- 5 学 校 廣岡誠司（教頭）、袴田陽太（教諭）、鈴木江利子（CSディレクター）
- 6 教育委員会 鈴木陽子（総務課）
- 7 傍 聴 者 なし

8 協議事項

- (1) 議長の選出について
- (2) 会議録確認
- (3) 授業参観・施設見学を終えての感想
- (4) 学校運営の基本方針について
- (5) 学校評価アンケート項目について
- (6) 校則見直しプロジェクトについて

9 会議録作成者 CSディレクター 鈴木江利子

10 会議記録

司会の廣岡から、委員総数8名全員の出席があり、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 議長の選出について

会長より指名があり、委員の全員が承認し、飯塚副会長に決定した。

(2) 会議録確認

会議録作成後、訂正がないことを確認する方法を検討し、確認できたらブログに掲載する。

(3) 授業参観・施設見学を終えての感想

- ・プールの更衣室はどこか。コロナ禍だから広い場所が望まれる。廊下の窓の開け方にもよるが、非常に暑いので扇風機があるとよい。（増谷委員）
- ・エアコンがあまり効いていないので、授業中は窓を閉めて、休み時間にしっかり換気したらどうか。（山田委員）
- ・教育委員会の規則でエアコン設定温度が28度となっている。（教頭）
- ・施設見学となっていたので屋上を見学したかった。（藤田委員）
- ・今日は天候が悪かったので、今後可能な時に実施したいと思う。（教頭）
- ・授業参観して、生徒は朗らかで、落ち着いている。非常階段は普段だれが開けることになっているのか。先程の話題にあったが、換気の仕方や教室内の温度など検討が必要だと思う。（小田委員）
- ・生徒が着るジャージは毎年マークなど変わっているのか、兄弟がいるようなら使いまわしをするなど親の負担が少しでも減るような様子か。（高林委員）
- ・4年前にデザインを変更したが、それまでのデザインは開校時のままで約30年変更がなかつ

た。(教頭)

- ・学校指定の T シャツは汗をかくと乾かないので、素材の検討が必要だと思われる。(飯塚委員)
- ・今までの記録を更新するような暑さの中で、生徒の健康状態が心配される。(吉春委員)
- ・エアコンの市の設定温度 28 度を検討してほしい。(飯塚委員)
- ・担当の部署に伝える。(総務課鈴木)
- ・学校運営協議会の意見は、市や国へどのように伝えられるのか。(飯塚委員)
- ・今年は協議会 1 年目なので、学校運営協議会の目的は学校の実態を知っていただくことにある。(総務課鈴木)
- ・我々が申し出る方法を知りたい。(飯塚委員)
- ・市教委の答弁は聞いた通りなので、年度末のアンケートにきちんと書くようにしたい。平成 29 年学校運営協議会の内容に「学校の支援」というものは入っていなかった。文科省に不安があったと思われる。その後、柔らかく、かつ厳しく学校を支援する組織と考えられた。現在は校則の見直しということで、学校指定の T シャツだけでなく、部活の T シャツも着ている。常識的な色を選んでいると思われる。(大橋会長)
- ・校則見直しに取り組み始めたら、スピード感をもってやる。早く改善。5 年間を目標にしたかどうか。(飯塚委員)
- ・話題に出ているが、エアコンの設定温度改善について市教委への要望書の出し方を知りたい。(山田委員)
- ・会長、校長に今後説明する。(総務課鈴木)
- ・直接聞いているから印象として残っている。1 回やってみるといい。(大橋会長)
- ・本校で熱中症の生徒は出ていないのか。(増谷委員)
- ・先週部活中 1 人軽症、搬送の必要はなかった。(教頭)
- ・厳しい暑さの中、生徒から部活をやめたいという声は出ないのか。(吉春委員)
- ・熱中症アラートの器具を使って危険を回避している。生徒は強い気持ちで部活に取り組みたいと思っている。(教頭)

(4) 学校運営の基本方針について 〈A3 版資料〉

教頭が資料を基に説明した。

※全員の承認を得ることができた。

(5) 学校評価アンケート項目について 〈A3 版資料〉

教頭が資料を基に説明した。

※質問や意見無し

(6) 校則見直しプロジェクトについて

生徒指導担当袴田教諭が資料を基に説明した。

生徒自分で選択、自分で考える、家庭で話し合う

保護者の負担を考慮する

教員考えを見直す

制服…多様性への対応

- ・「家庭の負担」を減らすために統一していたのではないか。生徒のいじめ、格差が生まれるのではないか。学習・運動面で個人差はあってよいと思うが、服装で格差をつける必要はないと思う。
(山田委員)
- ・「いじめ」が起こらないように配慮していて、アンケートを月1回実施している。生徒の主体性、選択する力、家庭の実情など生徒に学びの場を与えたい。(袴田教諭)
- ・全部自由は反対。中学生という思春期の心配がある。アンケートで全部分かるわけではない。(山田委員)
- ・家庭の力、地域の力の支援をお願いしたい。(袴田教諭)
- ・市内の公立の中学校で決まった規則があるのか。(吉春委員)
- ・それぞれの学校で自由に決めている。(飯塚委員)
- ・自分たちの世界を自分たちでつくる生徒を育てたい。自分たちの社会をつくっていく生徒に
(なぜ白なの？違うと思う？ここから議論が始まればよい)生徒から「格差」という言葉が出た。社会がどうあるべきかを考える生徒を育てたい。(教頭)
- ・手順を踏んで進め方を学ぶ。試行によって生徒が学ぶよい機会だと思う。(小田委員)
- ・社会の課題…よりよく生きていく子を育てたい。行政でやっていることを一般の人は理解していないことが多い。(教頭)
- ・市パブリックコメント、フリーに意見を取り上げる。(高林委員)
- ・やってみて良くなければ戻すのもひとつの方法。(藤田委員)
- ・個人を尊重することになる。(吉春委員)
- ・生徒に「ふさわしいとは？」主体的に「何がいいのか」考えてほしい。(袴田教諭)
- ・義務教育…伝統・保守的、生徒にプラスとなるように悩みながら進む。回覧板で生徒指導便りを地域にまわすとよい。会議録はメールでまわすなどしたらどうか。(大橋会長)
- ・会議録は会員の承認を得てからブログに載せるとよい。(総務課鈴木)
- ・学校支援コーディネーターを置かないのか。(高林委員)
- ・来年度1名決めて、R6～決定されていればよいと思う。(教頭)
- ・3年計画で取り組みを見据えていく。(大橋会長)

その他連絡事項等

教頭より

- ① 資料「さくら連絡網」の登録について
- ② 前回資料 p 10 「夢育やらまいか事業に対する意見書」
No.1の内容は対象がサッカーに取り組む生徒のみになってしまうので削除
No.2と3を採用する。

・今後の開催日時

第3回学校運営協議会 令和4年11月 8日(火) 14:00～15:30 東陽中1階会議室
第4回学校運営協議会 令和5年 2月24日(金) 14:00～15:30 東陽中1階会議室

・今後の熟議内容

教育課程と地域人材による支援案について